

「第16回 浜松市調べ学習コンクール」審査結果について

中央図書館

1 開催趣旨

図書館の本やインターネット等様々な情報を使って、日常生活や学習上の疑問点を考え、解決を導く「調べ学習」の研究レポートを募集し、その努力や工夫を評価することで、調べ学習の振興を促す。これにより、小学生の「問題発見・解決能力」や「情報活用能力」等、新しい時代に求められる資質・能力を養うとともに、図書館利用の促進を図る。

2 主 催 浜松市、浜松市教育委員会

3 後 援 一般社団法人浜松青年会議所、公益財団法人図書館振興財団

4 対 象 浜松市内の小学3～6年生

5 審査員 浜松市退職校長親和会及び主催、後援団体から選出した13人 (うち一人は審査委員長)

6 応募数

(1) 応募学校数 89校

(2) 応募点数 1,981点

学 年	応募人数
3年生	337人
4年生	430人
5年生	576人
6年生	638人

7 表 彰

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞 各1人

優秀賞 各学年2人 計 8人

優良賞 各学年3人 計12人

奨励賞 各学年5人 計20人

学校賞 5校

8 表彰式

(1) 日 時 令和6年11月3日(日) 午前10時～11時

(2) 会 場 浜松市立中央図書館 大会議室

9 作品傾向

- ・時事的な話題(新紙幣、オリンピック)
- ・自然、災害、防災(天気・気象、環境問題、身近な植物、鉱物、星座、地震)
- ・郷土関係(徳川家康、浜松城、お茶)
- ・歴史と文化(各地の史跡、歴史上の人物、戦争)
- ・国際理解や地理(特定の都道府県の特徴や特産品、SDGs、特定の国の歴史や暮らし)
- ・生き物(昆虫、ネコ、犬、恐竜)
- ・社会と福祉(ユニバーサルデザイン、ヘアドネーション、特定の職業について)
- ・からだや病気(老化、アレルギー)

10 全国コンクールへの出品

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞、優秀賞、優良賞の計23点は、全国コンクールに出品。

上位三賞受賞作品のあらましと評価について

【市長賞】 作品名「ぼくと起業～遠いようで身近な存在～」
浜松市立広沢小学校6年 磯部 航平

(作品あらまし)

昨年、サッカーをテーマにした調べ学習を行う中で、スポーツの動画解析アプリを開発した浜松のスタートアップ企業を訪問し、スタートアップや起業に興味をもったことが調べ学習のきっかけ。世界的企業の創業者である遠州地方出身の起業家について調べた後、海外の起業家へも目を向け、起業した理由に共通点があること知る。スタートアップ企業への再訪や起業家精神を学ぶ研修へ参加する中で、自分も起業にチャレンジしようと、新しいおもちゃの開発を試み、試作品を作成。「浜松起業家カフェ」へ持込み相談員から意見を聞く。その結果や調べ学習をとおして、ニーズに合わせた商品を作ることが起業をする上で大切なことだと学んだ。

(評価)

ダイナミックな郷土の人物史から自らの起業への展開が面白い。調べたことを体験し、実践しているのがよい。非常にきれいにまとめられており、完成度が高い。浜松の「やらまいか」精神が感じられる。

【教育長賞】 作品名「古代から語りつがれた声を聞く 味噌でわ(輪)(和)になる日本の心」
浜松市立船越小学校5年 坂口 仁珈

(作品のあらまし)

家族の便秘解消のため、発酵食品を取り入れた腸活を行ったところ、便秘が治った。そこから「発酵」に興味をもち、味噌について調べていく。歴史や種類について調べる中で、土地の性質により収穫できる穀物が異なり、それが味噌の違いに繋がっていることを知り、資料館や工場の見学で学びを深めていく。また、味噌の栄養素に着目し、味噌が免疫力を高めるのに適した食材ということがわかった。健康維持のため意識して摂取し、日本で古代から大勢の人が関わってきた味噌の大切さを自分も伝えていきたい、と結ぶ。

(評価)

発酵から味噌に至る線が複線的で深い。ひとつひとつの要素についてしっかり掘り起こしており、その感想が次の調べにつながっている。見る人が入り込むまとめ方にも目を見張った。

【中央図書館長賞】 作品名「ははうえ様…先程も同じこと言いましたよ…」
浜松市立北浜北小学校6年 成瀬 琴乃

(作品のあらまし)

まだ若い母親のもの忘れが心配になり、原因を調べようと思ったのが調べ学習のきっかけ。老化との関連を調べるため、曾祖母へのインタビューや周囲へのアンケートを実施し、「老いパーク」で老化の疑似体験を行った。結果、老化以外の原因もある可能性に気づき、記憶のメカニズムについて調べる。また、もの忘れと認知症の違いについても理解を深める。そして、もの忘れ予防や記憶力向上のためには、質の高い運動・食事・睡眠が大切だとわかり、母親に生活改善を提案する。

(評価)

実体験をしながら、身近ではあるが難しい問題を深く掘り下げ、段階を踏んで結論を導き出している。きっかけから調べる過程、まとめへの繋がりがわかりやすい。